



菊川市議会だより

議会のひろば

2016.5.19 No.46

今月の
特集

選挙権18歳へ引き下げ
高校3年生に聞きました

特集	P01
第1回定例会概要	P03
代表質問・一般質問	P06
みんなの声	P12
議会活動レポート	P13
聞かせてママの声	P15



特集

選挙権 18歳へ引き下げ 高校3年生に聞きました

市民と議会のつながりを広げられるような特集ページです。
今回は、これから選挙権を有することになる常葉学園菊川高等学校3年生の皆さんにお話を伺いました。(平成27年6月、公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、公布されました。平成28年6月19日以降、満18歳以上の方は選挙権を有することになります。)

「権利が与えられて自分に関係があると思い、学ぶようになってきましたね。」

〈菊川市の好きなところは?〉

- ・地域の結びつきがあって、親切な近所さんと仲良く暮らせるところです。
- ・(市内在住)
- ・住みやすい気候と自然が豊かな所です。
- ・(市外在住)
- ・駅北や警察署通りにお店がたくさんあるところがいいです。(市外在住)

〈市役所へ行くことはありますか?〉

- ・図書館は学校に近いのでよく行きます。
- ・部活の報告で市長表敬訪問に行きました。
- ・パスポートの申請に行きました。
- ・トイレを借ります。(笑)

〈今回、選挙権年齢が18歳に引き下げになったことを知っていますか?〉

- ・もちろん知っています。(全員)

〈選挙権を得たら投票へ行きますか?〉

- ・権利が与えられた者として行くべきだと思います。
- ・自分の意思を政治に反映させたいから行きます。
- ・必ず行きます。

〈期日前投票所が学校にあつたらどうですか?〉

- ・とてもいいと思います。

〈政治をわかっていますか?イメージは?〉

- ・だいたいわかっています。
- ・メインテーマは常に把握しています。
- ・あまり知識がなく、誰に投票と言われてもどこから情報を得ていいかわかりません。
- ・テレビを観ていると、もめているシーンが多くて意見を合わせようという感じがしません。
- ・野党は与党の批判しかしていないと思います。

〈今までと変わったことは?〉

- ・今まで政治は関係ないし、今やなくてはならないとは思っていませんでしたが、権利が与えられて自分に関係あることと違って、学ぶようになってきました。
- ・いきなり権利と言われてもわからないので、知識を得たいと思いました。
- ・家ではよく話していましたが、友達と政治について話す機会が増えました。

〈選挙に関する情報はどこから得られると思いますか?〉

- ・テレビや新聞です。
 - ・家族から聞きます。
- ※多いと思っていたインターネットやSNSの利用は個人差がありました。



〈地元に住み続けたいですか？〉

- ・ 地元に住みたい気持ちではありますが、就職先が少ないので県外へ出るとしています。
- ・ 若いうちは色々なところへ行行って視野を広げたい、年を重ねたら帰ってきたいです。
- ・ やりたいことがあるから、住み続けたいかと言われると、それは無いと思っています。
- ・ 海外へ行きたいと思っています。
- ・ 住みやすく優しい人が多いので、仕事に就くなら戻りたいです。

〈市議会や議員のことを知っていますか？〉

- ・ 近所の議員さんの名前は知っています。
- ・ ポスターや看板で見るくらいです。
- ・ 興味が無いわけではないけれど、何を話しているかわからないし、効果が見えていないと思います。

いろいろなお話を伺うことができました。
ご協力ありがとうございました。

〈取材協力〉

常葉学園菊川高等学校

松本双葉さん 増田千胤さん 佐野裕也さん

高橋達哉さん 溝口湧真さん 齊藤耕太郎さん

第1回定例会 審議結果

会期43日間 平成28年2月12日～3月25日

議 議 1件	陳 情 1件	議 案 36件	報 告 1件	諮 問 2件
-----------	-----------	------------	-----------	-----------

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	岡本 吉弘	有海喜 一郎	山下 修	加茂ひろ子	鈴木 啓之	倉部 光世	松本 正幸	高柳 和弘	水野 貞幸	宮城 力弘	鈴木 榮	西澤 和弘	小笠原宏昌	岡本 徳夫	北沢 俊一	田島 允雄	内田 隆
議案 第10号	菊川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
議案 第17号	平成27年度菊川市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
議案 第23号	平成28年度菊川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
議案 第24号	平成28年度菊川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
議案 第25号	平成28年度菊川市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
議案 第26号	平成28年度菊川市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-

※○…賛成 ※×…反対 ※議長（内田隆）は採決に加わらない。

審査ピックアップ 議案 第13号

菊川市消費生活センターの組織及び運営に関する事項等を定める条例

消費者安全法の一部改正に伴い、本市においても消費生活センターの組織および運営に関する事項ならびに情報の安全管理に関する事項について新たに定めるため、条例を制定します

審査において
こんな質問がされました

㊦ 条例の制定により、消費生活センターの体制と機能強化されるものは何か。

㊦ 消費生活相談員の設置時間について、9時から15時としているものを8時15分から17時までとし、拡充を図る。また、消費者安全法の中で、市が果たす役割、県の果たす役割や国の果たす役割が明記されたので、相談の受付と対応、適切な指導とあっせんの体制を含め、国や県と連携しながら機能強化を図る。



審査 ピックアップ 議案 第15号

菊川市歴史街道館条例の廃止

老朽化による施設の機能低下が顕著となっている菊川市歴史街道館の供用を廃止し、解体することとしたため、条例を廃止します。

審査において
こんな質問がされました

Q 地元の了解について、地元へはどのような説明をして、どういう意見があったのか。

A 方針の決定後に、関係する平川地区と嶺田地区の自治会に、廃止解体の方針決定についての経緯を説明した。地区からは、幼稚園が近くにあるため子どもの利用が多いので、公園としての活用を望む声があり、危険のないようにしてほしいといった意見はあったが、廃止解体に対する異論は出なかった。



審査 ピックアップ 陳情 28-2号

精神障害者に対する他障害者並み交通運賃 割引を求める意見書採択に関する陳情

公共交通機関の利用にあたり、精神障害者に対して、身体ならびに知的障害者と同等の運賃割引制度の適用を求める意見書を、国の関係機関に提出してほしいという陳情です。全員の賛成により採択され、意見書を提出しました。

審査において
こんな意見が出されました

・精神障害者和其他の障害者の差をなくしていくべきである。

精神障害者の交通運賃割引に関する意見書

障害者に対する交通運賃割引は、身体障害者については旧国鉄時代の昭和25年から、身体内部障害者は平成2年から、知的障害者は平成3年から実施されてきました。交通運賃割引を実施している交通機関等事業種は、現在、ＪＲ、民間鉄道、航空、旅客船、バス、タクシーのほか高速道路に及んでいます。

しかし、精神障害者については、平成9～10年当時、精神障害者家族の全国団体が主としてＪＲ運賃割引を含めて大規模な署名運動を実施していますが割引は実現せず、以後、全国的には一部の路線バス、民間鉄道などが割引を行うようになったものの、いまだに多くの交通事業者は精神障害者の運賃割引を認めていません。

精神障害者家族会の全国組織である全国精神保健福祉連合会（全福連）が実施した精神障害者に対するアンケート調査結果（回答者約4,800人）によると、精神障害者の1ヵ月平均収入は約6万円でした。そして、交通費の負担がたいへんなため「作業所に行くのをやめた」「どこにも出かけないようにしている」「外出は自転車で行ける範囲」という回答もあり、交通費が「大きな負担になっている」や「負担になっている」と答えた方は60%に上りました。

近年、障害者関係の法制は集中的に整備され、とりわけ平成26年2月に政府が批准した国際法・障害者権利条約はその第20条で「障害者自身が、自ら選択する方法で、自ら選択する時期に、かつ、負担しやすい費用で移動することを容易にすること」と明記し、第4条で「障害者に対する差別となる既存の法律、規則、慣習及び慣行を修正し、または廃止するための全ての適当な措置をとること」「この条約と両立しないいかなる行為または慣行も差し控えること」と謳っています。

交通機関事業者が運賃の障害者割引制度から精神障害者だけを除外しているという状況の改善は、政府・行政の責任でもあります。

したがって、精神障害者にも身体障害者及び知的障害者と同等に交通運賃割引を速やかに実現するよう、万全の施策を講じるべきであると考えます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年3月25日

静岡県菊川市議会

内閣総理大臣 安倍晋三 殿

平成28年度菊川市各会計当初予算額

(単位：千円)

会 計 名	当初予算額	前年度との比較
一般会計	18,288,000	1,215,000
国民健康保険特別会計	5,329,006	121,922
後期高齢者医療特別会計	386,267	12,027
介護保険特別会計	3,393,104	24,888
土地取得特別会計	10	0
下水道事業特別会計	791,502	▲ 163,525
病院事業会計	6,455,772	74,429
水道事業会計	1,888,220	178,599
総合計	36,531,881	1,463,340

平成28年度当初予算 税金の使い道を審査

平成28年度当初予算案が市長から提案されましたので、平成28年3月9日、10日、11日、23日に一般会計予算決算特別委員会を開催し、審査しました。各会計すべての予算案が原案どおり可決され、平成28年度事業がスタートしています。

審査において
こんな質問がされました

◎ 総合戦略・知名度向上事業費200万円について、メディアを利用したPRを昨年も実施したが、今回はどのような戦略を考えているのか。

△ 昨年度は当初予算200万円でCMを作成し、20回程度放送した。その後、地方創生で予算付けされた200万円でもCMを作っているため、平成28年度はその作成したCMを放送すること、200万円すべてを放送費に充てるよう考えている。

◎ 住宅取得補助事業費の中で、一般世帯と3世代同居世帯の補助の限度額の根拠は。

△ 一般世帯の限度額40万円は、住宅取得費に対する補助であるので、住宅取得費の1割もしくは限度額の40万円とした。また、3世代同居世帯の限度額80万円は、住宅取得費の2割もしくは限度額の80万円とした。

◎ 住民票などのコンビニ交付の検討は進めているのか。

△ 28年度に研究に入る予定で、研修会などへ出張するための旅費を計上してある。実施に向けての段取りに入っていく方向で準備に入りたい。

◎ 総合戦略・子育てアプリ開発事業費について、具体的などのようなことを考えているのか。

△ 子育て支援のイベントや、各種施設のマップ機能、健診日を自動的にお知らせする機能を考えている。

代表質問 一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには

菊川市議会 検索

まずは、菊川市ホームページ内
菊川市議会トップページへ

ここをクリック

生中継は
こちらから
ご覧になれます

録画映像は
こちらから
ご覧になれます

議会の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、是非ご覧ください。

代表質問とは？

第1回定例会において、市長の施政方針および予算編成方針の内容や考え方を、会派の代表者が質問します。

質問会派：
「市民ネット」「みどり21」

一般質問とは？

市議会議員が市に対して、市民の皆さんの生活にかかわる大切なことを質問します。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

代表 平成28年度施政方針
市民ネット 質問者：北沢 俊一



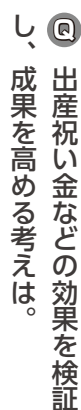
- ③ 国から矢継ぎ早の補正予算、予算編成に内発的思考が欠けるのではないか。
- ④ 市の実情や将来構想に沿った施策の立案に努め、独自の事業を実施していく。
- ⑤ プレミア商品券が地域経済を活性化したか評価が分かれる。どう検証したか。
- ⑥ 利用された商品券は99・85%、商工会の試算では消費喚起効果は約1億5000万円であった。
- ⑦ 農業政策は従来の踏襲が多く停滞している。経営主体、生産物方法など従来の政策を大きく転換する必要があるのではないか。
- ⑧ 地域特産物の試験・研究など、新たに独自性をもった施策も展開している。総合戦略を軸に、現在の取り組みに加え、JAなどと連携・協力した新たな活路や風土を生かした産地づくりといった、仕掛けやPR、売り込みなどを重点的に進める。
- ⑨ 駅北構想は菊川市にとって重要課題である。スケジュール感を持ち、全市的課題と位置付けての検討が必要と考えるがどうか。
- ⑩ 駅北整備・開発には膨大な事業費を要する。菊川市の発展に欠かせない重要な取り組みであるので、市民の理解が得られるような構想を策定する。
- ⑪ 学校の老朽化と生徒数の減少が進んでいる。教育施設の更新は小中一体化での更新が妥当と考えるがどうか。
- ⑫ 小中一体化への取り組みは有力な方策であり、総合教育会議などの場で本格的な検討を行う。



みどり21 質問者..小笠原 宏昌



水野 貞幸（市民ネット）



A 市民が菊川のよさや菊川らしさを再発見し、地域への誇りを育

A 平成28年4月以降の出生数が本格的な成果になるものと想定されるので、今後、検証していく。

㊤ 菊川茶産地の特性を踏まえ、現在の支援策で目的が達成できる
と考えるのか見解は。

A 生産者の意識改革と新たな経営への取り組み、また、茶業関係者の連携が重要であり、行政の支援だけでは達成できない。

㊤ 市長が先頭になって企業誘致を行うとしているが、戦略についての考えは。

A 民間の力を活用した用地の情報発信と企業の情報収集、進出を模索する企業に対しては、タイミングを見極めたアプローチである。

㊦ 菊川らしい文化の振興施策は、大変重要なテーマであるが、施政方針に記述がない、どう取り組むのか。

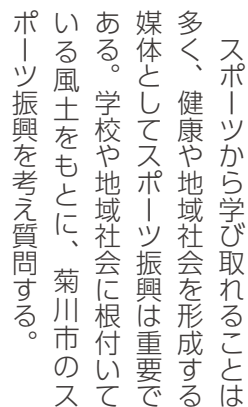
み、文化への関心認識が高まっていくよう取り組む。

㊦ 気軽に参加できる軽スポーツの教室や大会などの開催について、参加人数の目標を掲げ、取り組む必要があると思うが見解は。

A 目標設定のあり方は、今後検討していく。

④ 地域包括ケアシステム構築計画を示す必要がある、見解は。

A 計画は仕組み、ネットワークであり事業を網羅した形で示すことは、非常に難しい。



㊦ 各地で東京オリンピックなどを見据えて、選手権の開催やホストタウンに名乗りをあげている。菊川市の対応はどうか。

A 事前合宿の希望を出しているが、国際的な要件、他自治体にも同規模施設があるなど、誘致は厳しい状況である。県や周辺市町との連携を模索する。

◎ 全国から選手・役員・観客が集まる全国大会の開催実績と可能な競技はあるか。

A 平成15年の国体・軟式野球がある。施設面の条件から、市単独の開催は難しい。全国大会誘致だけを目的とした施設整備の計画も現時点ではない。

㊤ スポーツ離れは国の政策、グラウンドの確保が必要であるが、3ヶ所6面のグラウンドが1ヶ所2面になっている現状の回復と今後の計画は。

A 地域に根差したスポーツ振興に繋がる施設整備に重きを置き取り組んでいる。振興計画での未着手は、菊川運動公園北グラウンド整備工事のみである。都市計画施設の見直しと道路の整備方針との調整を図り、実現に取り込む。

他に地震防災対策について質問しました。



一般 TPPに伴う菊川市の農業施策は

宮城 カ弘（みどり21）



㊦ TPP発効に伴う菊川市農業への影響は。

㊦ 市内の農業への影響については、各方面の今後の動きが大きく作用するため、現時点では国、県、JAなどからの情報を収集し、引き続き動向を注視していく。なお、大きな影響が懸念される米については、生産者を対象にTPP関連政策大綱の説明会を開催する。

㊦ TPP発効に伴う菊川市の農業指針は。

㊦ 農地の集積を進め、作業効率をアップし、コストの削減を図っていくことが必要であるため、農地中間管理機構を活用した農地の集積を行うとともに安定的に農業を営むことのできる経営体の育成を図り推進していく。

㊦ 農業振興地域整備計画の中で

のTPPによる農業振興戦略は。

㊦ 農畜産物の安心安全やTPPなどの対応を前提とした上で、農畜産物のブランド化や高付加価値化、さらにはICT技術の進化する



どを掲げ、その基盤となる農地についても地域の振興上必要となる農地以外の土地利用や開発との調整に留意しつつ、優良農地の確保や集積を進め、総合戦略に基づき、菊川型農業モデルの創出に取り組む。

他に厳しい茶業への取組について質問しました。

一般 特別支援教育について

加茂 ひろ子（みどり21）



㊦ 教育委員会と特別支援校、市立学校との連携は。

㊦ 毎年、年度初めに市主催の特別支援教育コーディネーター研修会を行っている。研修会では、特別支援校の教諭も含めた関係機関による説明の機会を設け、特別支援校の地域におけるセンターの役割についての周知の場としている。

㊦ 心理学の専門家、医師、教員、巡回相談員、指導主事などで構成される専門家チームの実情と効果は。

㊦ 支援を必要とするかの判断や、望ましい支援の助言を受けている。専門家チーム会議で話し合われた内容により、保護者の理解が進み、発達通級指導教室への入級につながったケースもある。今後学校が広い視野で支援を行えるよう、構成員の専門性を生かした運営に努めていく。

㊦ インクルーシブ教育（※）の動きがある中で、市の考え方は。

㊦ 岳洋中学では、肢体障害の生徒が車椅子で学んだ例がある。障害をもった子ども、周りの子どもにとっても、一緒に学習したという実感、達成感を持ちながら充実した時間を過ごすことは大きな意味がある。今後もさらに検討していく。



※インクルーシブ教育

障害を持った子ども、または配慮が必要な子どもが、通常学級と一緒に勉強したり活動したりする教育。

他に障害者就労について質問しました。

一般 15年計画で花の名所づくりを

高柳 和弘（みどり21）



㊦ 全国各地から、春の訪れを告げる花便りが届く季節になった。市内には大きな集客力のある観光施設がない状況が続いている。交流人口の増加につなげるため、中期的なスパンで「花の名所」づくりを提案する。

初期投資は比較的少額で済む。候補地として、上倉沢の棚田、菊川運動公園、おおぞら農村公園などが挙げられる。休耕田や耕作放棄茶園、里山の活用というやり方もある。

課題としては、花の見ごろの期間が短いことが挙げられるが、開花時期の異なる花の種類を複数にすれば良い。まずは、研究・検討をスタートさせる考えはないか。

㊦ 市内には「火剣山や丹野池、菊川公園の桜」「河川菊川や丹野川の桜堤」「黒田邸の梅園」などの名所があり、市民を中心とした憩いの場となっている。

現在、市内には樹木の老木化により植え替えが必要な公園や、遊具・施設の老朽化により再整備が必要な公園がいくつかある。今後、



浜岡白砂公園の河津桜。
おおぜいの花見客で賑わう。（2月下旬）

長期的な公園整備計画の策定を考えているので、この中で「花の名所づくり」についても検討していく。

28年度から「公共施設等総合管理計画」の策定を進めるが、これと並行して公園の管理などを目的とした個別計画を作っていきたい。

他に交通事故防止対策について質問しました。

一般 対話によるまちづくり

倉部 光世（市民ネット）



政策を実現するために一番必要なのは「ひとⅡ市民」。菊川市の総合戦略の推進に向けて、連携・協働での取り組みを継続していくとなっている。協働を実現するには対話から生まれる行動が必要不可欠。総合戦略実現へ向けて市民と連携・協働する具体的な方法、行政の役割は。

㊦ 自由に意見を出し合うことのできる庁内協働の状況は。

㊦ 平成25年度より協働のまちづくり推進庁内ワーキンググループを設置、メンバー拡充とワークショップも取り入れて職員意識を高める。

㊦ 若者やこれから住み続けていく市民の意見をとりいれることの重要性は。

㊦ 今後のまちづくりには、若者を含めた市民意見を行政運営に反映することが非常に重要である。

㊦ 市民参加の対話のできる場作りをするために、ファシリテーター



おんぱくトークカフェの様子

セッションを使った対話の場であるサロンづくりに対する取り組みは。

㊦ 市民が企画・参画しやすい機会を設ける必要性から、市民協働センターで対話の場としてフューチャーセッションを開催していく。

㊦ これから計画される東館について、市民意見を反映する参加者を限定しないワークショップを開催する予定は。

㊦ 市民が集い親しまれる施設になるよう市民の意見を聴く場を設けていく。

他にシティプロモーションの方向性、投票率向上に向けてについて質問しました。

一般 輝く女性の社会進出の壁待機児童

西澤 和弘（市民ネット）



Q 平成20年3月制定の「菊川市幼保施設整備計画」の見直しは、具体的な要素を盛り込むのか。

A 社会情報の変化に応じて、市全体のバランスを考えた幼保施設の配置を進め、公立園再編の必要性なども検討していく。

Q 各園では、保育士確保が大きな課題となっている。教育委員会の対応は。

A 平成27年度から「保育教諭等登録制度」を開始。1年間で9人が登録し、3人が紹介に結びつき1人が採用された。これから制度のPRに努める。

Q 昨年度までは「待機児童ゼロ」と聞いている。本年度の現状は。

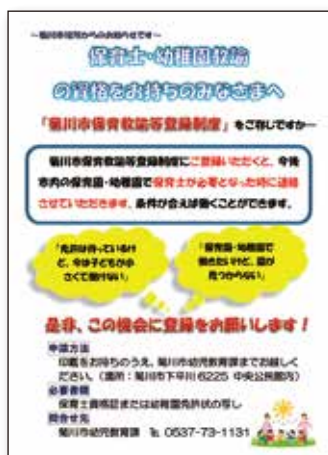
A 新制度が施行され、入所要件が緩和されたことや、近年女性の就労が増えたことなどにより、保育ニーズが高まり、入所希望者が昨年の1.37倍に増え、現在も入所が決まらず調整が続いている。対応策としては、小規模保育・事業所内保育事業の調査研究を進め

る。また既存の幼児施設と定員増の協議を行うとともに、公立幼稚園の預かり保育を充実するよう検討する。

Q 市内私立幼稚園の認定こども園移行に対する、教育委員会の方針は。

A 現状をまえ、将来的な視点を加味する中で、どういう方法が望ましいのかもう少し研究して、市としての方針を出していきたい。

他に子どもたちへの「教育」について質問しました。



一般 意見書の検証では再稼動は不合格

田島 允雄（日本共産党菊川市議団）



菊川市議会は、浜岡原発の再稼動について、昨年9月議会で、全会一致で意見書を議決した。その内容は①使用済核燃料の最終処分

の確立②実効性のある避難計画の策定③原子炉施設の安全性の3つの条件を課し、それができなければ再稼動は認めないというものがある。この意見書に基づいて市の認識を問う。

Q 浜岡原発の使用済み核燃料の現状は。

A 現在は核燃料プールに保管している。青森県の六ヶ所村再処理工場が完成すればそこで処理するが、完成が延期されており、見通しが遅れている。

Q 高レベル放射性廃棄物の現状は。

A 高レベル放射性廃棄物の最終処分の確立については、私（市長）もできていないということを認めている。

棄物の現状は。

A 処分地については、以前は敷地外に処分する予定であったが、現状のところ目途が立っていない。

Q 広域避難計画の策定状況は。

A 上位計画の県の計画が具体的に示されていないので、市の計画も現状は概要程度である。実効性のある避難計画に求められる事項は、避難先や避難経路、交通手段、避難時の放射線検査場所、安定ヨウ素剤の配布方法、要支援者の避難支援などである。

他に特養ホームの待機者問題の解消、学校給食の民営化について質問しました。



Q 廃炉による低レベル放射性廃

一般 浜岡原発について

岡本 徳夫（前進）



Q 浜岡原発の使用済み燃料貯蔵プールの水温は、外部電力がストップして、冷却ができなくなった場合、どのようなになるのか。

A 浜岡原子力発電所における使用済み燃料は、本年1月末時点で、3号機から5号機までの燃料プールに、合計6564本保管されている。平成24年に中部電力が原子力安全・保安院に報告書を提出している。原子力安全・保安院では、その報告に対する評価を実施している。燃料プールの環境機能が失われ、さらにプールへの注水を行わない場合、燃料が露出するまでに最短で36日間の余裕時間があるので、その間に可搬式動力ポンプなどを用いて代替注水を行うことで、燃料プールの水位を維持し、燃料損傷を防ぐことができるかとされている。

Q 水温が100度になるのは、何日くらいかかるのか。

A 発電所の保安規定では、使用済み燃料プールの水温は65度以下で管理することとされ、100度



到達日数は明らかにされたものはない。

Q 燃料体に損傷が始まる温度は、何度くらいか。

A 燃料体が溶融する温度は、およそ摂氏1800度と報告されている。

他におおぞら幼稚園に関する誤った資料の撤回について質問しました。

一般 南海トラフ・避難所は機能するか

岡本 吉弘（みどり21）



Q 各地区への地区防災計画作成の指導・支援をどのように進めるか。

A 現在、主に小学校区単位で組織する地区防災連絡会の立ち上げを進めている。地区防災計画の策定については、地区防災連絡会の規模を前提とし、策定を支援していきたいと考えており、会の運営が軌道に乗り、地区内の連携が固まったところで地区ごとに策定するよう呼びかけるとともに、個別に作成の支援を行う予定である。

Q 高齢者や障害者などの避難支援計画が義務付けられたが、完成しているのか。

A 平成26年4月に災害対策基本法が改正されたことに伴い、既に策定済みの災害時要援護者避難支援計画を、新たに避難行動要支援者避難支援計画として、災害対策基本法および菊川市の現状にあった形での修正を進めている。

Q 避難所トイレの配置と、し尿処理をどのように計画しているか。



A 各避難所に設置している防災倉庫に備蓄している簡易トイレを使用していたくのが第1段階。第2段階として、避難者が多くトイレの数が不足する場合には、市の防災倉庫に備蓄する簡易トイレの配備。第3段階として、救援物資として国や災害時などの相互応援に関する協定の締結先に要請することを想定している。

し尿処理については、し尿の収集運搬事業者と災害支援協力に関する協定書を締結し、指定避難所などにおける災害し尿などの処理を優先的に実施していただくよう対策を講じている。

みんなの声

傍聴者より

大変勉強になりました。市議会でさまざまなことを議論していることを、1人の市民としてもっと知り、考えていかなくてはいけないと思いました。高校は県立で市政に関わりにくい面があるのかと思いますが、学んでいるのは市民であり、高校生にも議論に参加させたいです。掛川・御前崎の子にも住んでいるまちを知ってもらう意味が必要です。市の抱える問題を高校生とともに解決していきましょう。

議会より

選挙権が18歳へ引き下げとなります。高校生にも市議会に関心を持っていただけるよう、議会活動や広報活動に努めていきます。

傍聴者より

静岡県全域で人口が減少しているのは耳にしますが、菊川市はお茶・JRの駅・空港もあります。また、マンションもでき、もっとアピールをしていってほしいと思いますし、活気のある市・住みやすい市になってほしいと願っています。常葉菊川高校の野球部が春の甲子園で優勝した時は、元気・活気がついてきたなあと思っていました。



テーマトレイン

東海道本線の3両編成の車内すべてにポスターを掲出

議会より

テレビCMやテーマトレイン（※）などにより市の魅力を発信しています。今後、議会からもさまざまな提案をしていきます。

《皆さんの声をお聞かせください》

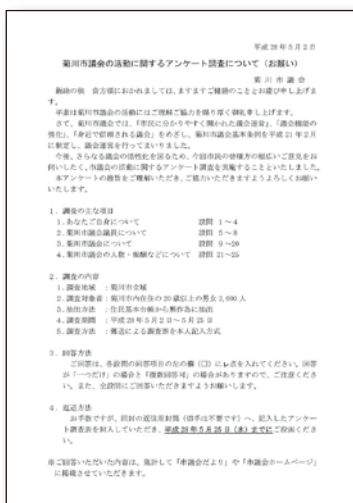
ハガキに「議会のひろば」を読んだ感想や議会への要望・意見などを記入してお送りください。メールやFAXでも受け付けています。

- あて先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地
- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116





議会活動レポート



議会運営委員会

議会運営委員会では、「市民に分かりやすく開かれた議会」「議会機能の強化」「身近で信頼される議会」を目指し、議会運営を行っています。さらなる議会の活性化を図るため、市議会の活動に関する市民アンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いします。



教育福祉委員会

本年度の活動テーマを「地域包括ケアシステム」としました。要介護状態になっても、住まいを中心として医療・介護・予防・生活支援が一体的、継続的につないでいく仕組みの構築が国全体の課題になっています。菊川市のケアシステムの現状と課題、目指すべき姿を研究していきます。



第99回東海市議会議長会定期総会

4月21日に東海市議会議長会定期総会が岐阜県岐阜市で開催され、菊川市を含め96市の市議会議長および副議長が出席し、平成27年度決算、平成28年度予算などが承認されました。



総務建設委員会

菊川市農業振興地域整備計画について農林課から説明を受け、意見交換、議員間討議をした上で、委員会として課題を指摘しました。今後、市農業の将来を見通した計画の策定が期待されます。本年度も引き続き農業・茶業について研究していきます。

議会報告会のお知らせ

菊川市議会では、市民に開かれた議会・市民参加を推進する議会を目指した活動のあるべき姿を定める「菊川市議会基本条例」を、静岡県で初めて（平成21年2月13日施行）制定いたしました。この条例の第7条において、市政全般にわたって議員および市民が自由に情報および意見を交換する「議会報告会」を開催することとしています。

市内11地区（地区自治会単位）会場において、毎年1回開催し、本年度で8回目を迎えます。毎年会場でアンケートをお願いし、より良い報告会にしたいと改善を繰り返してきました。本年度は、新たな試みとして、地区会場に参加できなかった市民の皆さんを対象に、休日の昼間に報告会を開催し、12会場で開催します。

ご都合がつく会場にて、お待ちしております。



いろいろな議員が担当しますので、どんな議員がいるのかお楽しみにしてください。

**本年度の議会報告会は
会場が1カ所増えます**

平日や夜間に参加できない方を対象に、休日の昼間にプラザけやきにて議会報告会を開催します。

日程につきましては、後日配布予定の回覧物や菊川市議会ホームページにてご確認ください。

議会豆知識



「定例会」

定例会は、定期的に招集される議会のことで、地方自治法に年4回以内と定められていた。今は回数の制限はない。通年議会という自治体もあるが、年初を第1回とする年4回が大半である。

通称「〇月議会」という呼び方もあるが、初日の属する月のことをいう。

菊川市では、近年審議時間を長く取り、2～3月・6月・8～9月・11～12月に招集している。他に「臨時会」がある。

「常任委員会」

議会は、議員全員が一堂に会して審議するのを理想とするが、長時間で非効率である。菊川市では、分担して専門的に審議する常任委員会「総務建設委員会」「教育福祉委員会」を設置している。

各議員はいずれかへ所属しなければならない。

常任委員会では、議会から付託された議案を審議し、結果を議会へ報告・採決される。

他に「議会運営委員会」、必要により設置する「特別委員会」がある。



きかせてママの声

Vol.01

菊川市に住むお母さんに聞きました。

我が家のお隣一家は顔を見る度に挨拶や世間話をしてくれ、核家族かつ未熟な我が家には心強い存在です。我が家は昨年からお子さんを保育園に預け仕事に行く生活ですが、時にはさまざまな理由で揺らぐこともあります。菊川に来て2年、いろんな事で地域のお世話になり、おかげさまで菊川の生活が充実しています。いつか、お互い様と言えるように成長していきたいです。

山田 早苗さん



第2回定例会の予定 (各日とも午前9時～)

6月

3日(金) 議案の提案説明
6日(月)

9日(木) 一般質問
10日(金)

15日(水) 質疑・討論・採決・委員会付託

27日(月) 委員長報告・質疑・討論・採決

28日(火) 予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(35-0941)へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



請願・陳情

特定の事について、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。



次の「議会のひろば」は
8月発行予定です。
(年4回発行)
お楽しみに!

©菊川市

編集後記

今夏の参議院議員選挙から選挙権が18歳以上となる。日常生活が政治に左右される海外では、政治に関心が高い。若年層が政治に向き合うことを期待したい。

県下で最初に制定され、今や議会改革の代名詞的存在となった「菊川市議会基本条例」も他市に追いつかれないよう多方面から見直しを進めている。

この「議会だより」も4頁追加し、内容を一新、表題も「議会のひろば」とした。

(編集委員 鈴木 榮)

表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。
菊川市観光協会主催
第5回 菊川市
みどころフォトコンテスト(2015年)
準グランプリ
「春一番」
菅沼信博さんの作品

潮海寺と吉沢の間

